

～体験を通しての
食への関心～

「お米学習」スタート！



育苗センターの施設に入る前に、
紙芝居で「水稻苗ができるまで」を学びました。



施設内を隅から隅まで見学！
たくさんの発見がありました。



学ぼう！

「お米ができるまで」

昨年からは始まった相馬小5年生
17名との「お米学習」が、今年も
スタートしました。初回となった
4月30日、育苗センターを訪問。
施設に入る前には、佐々木指導員
から紙芝居を用いて「水稻苗がで
きるまで」の説明を受けました。
クイズ形式の質問もあり、「お米
の種類は何種類あると思います
か？」との問いかけに、児童たち
は真剣に悩みながら答えています
た。その後は、施設内を隅から隅
までじっくりと見学。自分たちの
目で現場を見る貴重な体験となり
ました。子供たちはこれから1年
をかけて、お米が自分たちの食卓
に上るまでの過程をじっくりと学
んでいきます。





手ほどきを受けて、
コツを掴み田植えのペースが上がる



説明を聞いてからいよいよスタート～



泥んこになるのも楽しい～



頑張って植えたよ～♪



泥に足を取られても作業は進めます



次は稲刈りだ～!!



笑顔で田植え体験

5月25日、5年生16名は、当J A女性部長田澤真由美さんの田んぼを借りて、田植えを体験しました。子どもたちはひんやりとした田んぼに裸足で足を踏み入れ「冷たい」「キヤー」と歓声を上げながら、「青天の霹靂」の苗を丁寧に手植えしていきました。泥の感触や生き物との触れ合いを楽しみながら、泥だらけになって作業を進めた子どもたちからは、「楽しく田植えができた。美味しいお米に育ってほしいね」といった声が聞かれました。

実際に農業を体験し、食への関心を持つことは、子どもたちにとって素晴らしい「食育」の機会となります。こうした取り組みを通じて農業への興味や理解が深まることで、将来の農業や地域の産業を担う人材へと育ってくれることが期待されます。